

ドロップ・サイト・デイリー、4月20日：米イラン間の停戦期限が迫るも交渉は行き詰まり；ルイジアナ州で銃乱射事件、児童8人が死亡；イスラエル、レバノンにガザ型「イエローライン」を設置

脇浜義明訳 *脚注は訳注

イランと停戦

***戦争でイラン人は少なくとも3, 375人死亡：**イラン法医学機構の代表者は、米・イスラエルのイラン攻撃開始から2026年4月10日までの紛争による最終的死傷数を発表した。Wafaによると、死者総数は3, 375人で、うち男性2, 875人、女性496人で、子どもの死亡は少なくとも383人であった。犠牲者が多かったのはテヘラン、ホルムズガン、イスファハンの各州であった。

***トランプ大統領、21日に交渉開始を表明しイランを脅迫、イランは交渉予定なしと表明：**トランプ大統領は、交渉の第二ラウンドの可能性を前に、20日フォックス・ニュースに対し、イランが合意に署名しなければ、「イランの国全体が爆破されるであろう」と言った。彼は、合意は「非常に単純」であるが、ホルムズ海峡の完全再開を必要とする主張した。彼は自分のSNSのTruth Socialで、米国の交渉団が20日の夜にパキスタンに着くと発表した。彼は20日にニューヨーク・ポスト紙の取材に応じ、イラン当局者との直接会談に前向きな姿勢を表した。「彼らと会うことには何の問題もない」と述べ、「彼らが会談を望むなら、我々には非常に有能な人材がいるが、私が彼らを会うことには何の問題もない」と語った。現在の停戦は明日の21日に期限終了となる。

***イランは米国との次期交渉については未定：**イラン外務省のイスマイル・バガイ報道官は20日のブリーフィングで、「我々は次期交渉の予定はなく、その点に関して決定もされていない」と言った。米国との停戦は21日に期限切れになる。「米国は外交と交渉への準備を主張しながら、外交プロセスを本気で追求する姿勢を示さない行動をとっている」とバガイ報道官は、イラン籍貨物船への攻撃とイラン港湾に対する海上封鎖を例に挙げて、説明した。

***米軍艦がイランの貨物船を拿捕：**トランプ大統領は19日、米軍駆逐艦がイラン船籍の貨物船を攻撃して拿捕したと、Truth Socialに投稿した。米軍艦スブルアンスが、イラン船トゥースカ号を、乗組員が止まれという命令を拒否したのは米海軍の海上封鎖の突破しようとする試みだとして、発砲して拿捕したと、トランプが投稿し、海兵隊が同船を拿捕する前に海軍が「機関室に穴を開けた」と書いた。イランのハタム・アル・アンビヤ中央司令部の報道官は貨物船攻撃と拿捕を「米国のテロ攻撃」と非難し、報復すると言った。報道官は、当初イランは反撃する用意をしたが、乗組員とその家族が乗船しているために、攻撃を控えたと言った。

***パキスタン、イラン指導部と緊急電話会談：**パキスタンのシェバズ・シャリフ首相とイシャク・ダル外相は、イランのマスード・ベゼシュキアン大統領とアッバス・アラグチ外相と19日、それぞれ連続して電話会談を行った。パキスタン政府は、21日に停戦期限が切れ、交渉第2ラウンドが未定なので、外交チャンネルを開けておこうとしている。

***オマーン沖でタンカーが銃撃された：**英国海上貿易業務局(UKMTO)の発表によれば、19日オマーン北東約20海里の海域で、商業船タンカーが恐らくイラン革命防衛隊の艦船と見られる2隻の軍艦から銃撃を受けた。UKMTOによれば、2隻の軍艦は無線連絡もなしに接近し、発砲したという。負傷者はなく、乗組員は全員無事であった。AIS(自動船舶識別装置)のデータによると、18日には、少なくとも8隻のタンカーがホルムズ海峡を通過してペルシャ湾から出たと見られる。

***ホルムズ海峡でインド船籍の船舶2隻が攻撃された：**インドは18日、インド船籍の船舶2隻がそれぞれ別個に攻撃されたことに関して、イラン大使を召喚した。一件はイスラム革命防衛隊の砲艦が発砲したもので、もう一件は正体不明の飛行体による攻撃であった。ロイター通信によると、海峡通過中の船舶は、イランがホルムズ海峡を「完全閉鎖」したとVHF無線で放送したのを受信していた。

***イラン議会議長、米国の封鎖が続く限り、ホルムズ海峡を全面的に封鎖すると警告：**イラン議会のモハンマド・バーゲル・ガーリーバーフ議長は19日のテレビ演説で、イラン・イスラム共和国がホルムズ海峡を実効支配していると述べ、

¹ 米時間、日本時間では22日。

米国がイランの港湾に対する海上封鎖が続く間は、「ホルムズ海峡通過は確実に制限される」と宣言した。ガーリーバーフ議長は、米国がホルムズ海峡で機雷除去らしき行動（イランはこれを停戦違反と見做している）をしたのにイラン軍が対応したと述べ、イスラマバードでの会談の時、自分が米国代表団に船舶の侵入には砲撃で迎え撃つと警告したと主張した。「我々がホルムズ海峡を通過できないのに、他国が通過できるはずがない」と言った。CNNが18日には、イランは新たな通航規則をまもり、警備料金を支払う船舶を優先的に通過させ、拒否する船舶は通過が「延期」されると報じていた。

***UAE、米国と通貨スワップ協議：**アラブ首長国連邦（UAE）が、イラン戦争で経済的負担が深刻になる場合に備えて、緊急的金融対策の可能性について米高官と予備的協議を始めたこと、ウォールストリート・ジャーナルが報じた。UAE中央銀行のハリド・モハメド・バラマ総裁は、先週ワシントンでスコット・ベセント財務長官を含む財務省と連邦準備制度理事会の高官らと会談し、通貨スワップの可能性を提起したと言われる。この協議は、戦争によって資本流出が起きて外貨準備が底をつき、UAEの国際金融センターとしての地位が脅かされているというUAEの懸念の高まりを反映している。

***トランプ大統領の一貫性のない行動で交渉が信じられないと、イラン高官がドロップ・サイト・ニュースに語った：**イラン政府の内部の考え方に直接アクセスできる高官は、停戦期限の21日までに合意が成立しなければ、トランプはイスラエルの圧力に押されて軍事行動を再開するものと、イランが予測していると、ドロップ・サイト・ニュースに語った。その場合、イラン政府はすべての外交ルートを閉じて、米国の国益を長期にわたって「大きく損傷する」攻撃をするだろう。Jeremy Scahill & Muritaza Hussain, [“Trump’s Erratic Behavior May Tank Megotiations, Iran Says, warning of ‘Significantntly Greater Cost’ to the U.S. if War Resumes”](#), Drop Site News, April 20, 2026 を読みたい。

レバノン

***停戦にもかかわらず、イスラエルのレバノン攻撃が続く：**

・レバノン国営通信社によると、20日、ビント・ジュベイル地区のアル・ティリの町とブルジュ・カラウィアの住宅1棟がイスラエル軍から空爆された。

・メイス・エル・ジャバル西部のドゥワイブ地区への夜間の攻撃で、複数の家屋が破壊され、南部の村々では市民インフラが大規模に破壊された。

・4月19日、イスラエル軍は、レバノン国内に「イエローライン」という境界線を設定した地図を公開した。イエローライン内にはイスラエル軍が展開し、地図に記されている50以上の村には、住民が戻ってはならないとされている。イエローラインは、国境沿いにレバノン領内で5～10キロメートルにわたって伸びている。さらに、イスラエルは住民にリタニ川流域への立ち入りを禁止した。ヒズボラのレバノン議会議員のハッサン・ファドララはAFP通信に対し、ヒズボラは「イエローライン」を突破して破壊すると言った。

・18日、南レバノンで「イエローライン」を超えてイスラエル軍陣地へ侵入した者がいるという報告を受け、イスラエル軍は空爆と砲撃を実施したと発表した。

***ヒズボラ、イスラエル軍戦車4台を破壊したと主張：**ヒズボラは19日、アッタイベからデイル・セリアンの昔のアッサラ陣地へ移動していたイスラエル軍装甲車8台を「事前に仕掛けていた爆発物」で待ち伏せ攻撃をしたと発表した。この爆発攻撃でメルカヴァ戦車4台を破壊、戦車が「炎上しているのを目撃した」と主張、イスラエル軍が損傷した戦車を現場から撤去するのを見たと言った。

***レバノンの大統領、米国大使と会談：**レバノンのジョセフ・アウン大統領は20日、ミシェル・イッサ駐レバノン米国大使と会談し、停戦維持について話し合った。同日の午前には、アウン大統領は、レバノンはイラン停戦交渉とは別個に「二国間交渉」を進めると強調した。「これからの交渉は他のいかなる交渉とは別個である。レバノンには選択肢が二つある。人道的、社会的、経済的、そして主権に関して影響を及ぼす戦争の継続か、あるいはこの戦争を終結するための交渉か」と大統領は述べた。

***南レバノンで待ち伏せ攻撃のため国連レバノン暫定軍（UNFIL）のフランス軍平和維持要員が死亡、フランスはヒズボラを非難：**18日、国連レバノン暫定軍に所属するフランス兵1人が、南レバノンのガンドゥリヤ村近くで待ち伏せ攻

² イランとパキスタンはイラン停戦にはレバノンが含まれていると主張していること。

撃を受けて死亡、他に3人が負傷した。フランスと UNFIL はヒズボラの関与を非難したが、ヒズボラは関与を否定している。3月下旬にもインドネシア平和維持要員3人がそれぞれ別個の事件で死亡したが、それは UNFIL 車両の爆発とミサイル攻撃によるものだった。

ガザ・ジェノサイド、西岸地区、イスラエル

***死傷者数：**過去24時間で、ガザ回廊各地へのイスラエルの攻撃で、パレスチナ人2人が死亡、22人が負傷した。2023年10月7日以降の総計は、死者72,553人、負傷者172,296人となった。ガザのパレスチナ保健省によると、いわゆる停戦初日の10月11日以降のイスラエルの攻撃による死者は777人で、負傷者は2,193人である。瓦礫の下から回収された遺体は761体である。

*イスラエル軍のガザ回廊攻撃は続く：

・イスラエルがガザ市南東部のザイトゥーン地区のパレスチナ人集団をドローン攻撃した。明け方、ガザ回廊中部にブレイジ難民キャンプへのドローン攻撃で、1人が死亡、1人が負傷した。ガザ市西部のアッラシード通りへの攻撃で3人が負傷し、ハーン・ユニスでは銃撃で数人が負傷した。

・パレスチナ・メディアと医療関係者によると、19日、イスラエル軍のガザ回廊各地への攻撃で、少なくとも3人のパレスチナ人が死亡した。Wafa 通信によると、ガザ回廊中部のアル・マガジ難民キャンプ近くで、ハラ・ダルウィツシュという少女が殺害された。ジャバリアの避難民テント村では、62歳のハリール・ナセルがテントの外で水汲みを手伝っているときに頭を撃たれた。アル・アウダ病院の報告によると、38歳のアイマン・アブ・ハスナは、ヌセイラト難民キャンプ北東のサラ・アッディン通りをオートバイで走行しているときにドローン攻撃を受け、死亡した。

・イスラエル軍はラファの北西部でユセフ・ビン・ハサンというパレスチナ人を殺害した。また、南部のマワシ地区では若い少女が撃たれたという報告がある。

***イスラエル、ユニセフの給水車運転手2人を殺害：**ユニセフと契約してガザ回廊のパレスチナ人世帯に清水を運んでいた給水車運転手2人が、ガザ回廊北部のマンスーラ給水所で、イスラエル軍に銃撃されて死亡した。ユニセフによると、マンスーラは、ガザ市に給水するメコロット給水ラインで唯一稼働している給水車に水を入れる場所である。

***ハマス幹部。ニューヨーク・タイムズのハマス武装解除報道を否定：**19日のニューヨーク・タイムズ紙は、ハマスが「数千の自動小銃やその他の武器」を放棄し、それらをガザ和平評議会の下に設置されたパレスチナ人行政委員会に引き渡す用意があると報じた。しかし、ハマス幹部は、ドロップ・サイトのジェレミー・スカヒル記者に、その報道は「でたらめだ」と言った。

***衛星画像によると、ガザ回廊でイスラエル軍陣地が拡大：**アル・ジャジーラが衛星画像を使って調査した結果、ガザ回廊で復興は事実上停止しているが、イスラエル軍の軍事施設の建設が加速的に拡大していることが判明した。イスラエル軍は境界線を示すコンクリート製の境界標を密かにパレスチナ領内に数百mも移動させ、新しく要塞、舗装道路、監視塔、恒久的前哨基地を建設し、ガザ回廊でイスラエル軍プレゼンスを拡大している。一方、1月にダボス会議でトランプの娘婿のジャレッド・クシュナーが提唱した「新ラファ」復興構想は、現実的に全く進展していない。アル・ジャジーラ・スタッフが書いた“[Satellite images reveal Israel expanding Gaza military sites](#)”, Al Jazeera, 19 April, 2026 を読みたい。

***ガザ復興費用、推定714億ドル：**EU、国連、世界銀行の共同評価によると、ガザ回廊の復興・再建には10年間の年月と714億ドルの費用が必要で、最初の18カ月間は住民の生活必需サービスと市民インフラの復旧に充てられると推定されている。その報告書によると、371,888戸以上の住宅が破壊または損壊し、病院の50%以上が機能停止状態にあり、ほとんどの学校が壊され、経済は84%縮小した。ガザの経済発展は推定77年後退した。避難民は約190万人、人口の60%以上が家を失った。

*イスラエル軍の西岸地区攻撃：

・Wafa 通信によると、イスラエル軍は20日、ヘブロン、ヤッタ、ベイト・ウンマル、トゥルカルム近郊のアナブタを襲撃し、50人以上のパレスチナ人を拘束した。タムンでは地元の囚人協会のディレクターなど3人が拘束された。軍のブルドーザーは2日連続で数十本のオリーブとアーモンドの樹を根こそぎにした。トゥバス地域では、イスラエル軍

がタムン近郊で水道管を破壊した。この破壊活動は、トゥバスの東にある検問所とナブルスを結ぶ22キロの道路建設計画に関連する土地造成の一環であると報じられている。

・イスラエル軍は18日、ヘブロン丘陵南部の違法入植地に侵入したとして、パレスチナ人1人を射殺した。軍は、証拠を示さずに、その男がナイフで武装していたと主張した。

米国ニュース

***米軍、カリブ海で船舶を攻撃、3人を殺害**：米南方軍 (SOUTHCOM)によると、米軍は19日、カリブ海で船舶を攻撃し、3人を殺害し、攻撃の様子を動画で流し、「この作戦で麻薬テロリストの男3人が死亡した」と発表した。しかし、テロリストであることを証明する証拠を提示しなかった。これで米軍のカリブ海と太平洋での船舶攻撃は9月以降数十件で、180人以上が死亡した。

***ミシガン州司法長官選挙と大学理事選挙で親イスラエル派候補が敗北**：ミシガン州司法長官ディナ・ネッセルは、2024年の大学キャンパスで抗議運動を行った学生たちを、大学理事会幹部と組んで起訴しようとした民主党所属の人物である。今週末の民主党大会は、ミシガン大学の理事候補選挙で親イスラエル派のジョーダン・アッカー候補を拒否し、学費軽減や表現の自由を掲げて理事に立候補したミシガン州ディアボーンの市民派弁護士アミール・マクレッドを選出した。マクレッドがヒズボラ支持をSNSに投稿したり、イスラエル人を「悪魔」と呼んだ政治評論家キャンディス・オーウェンズのツイートのリツイートしたことがあり、それをスキャンダル化しようとする扇動があったが、民主党はそれを退けた。ネッセルの後任を選ぶ州司法長官選挙では、学生デモ弾圧を主導したミシガン大学理事たちはオークランド郡検事のカレン・マクドナルドを応援したが、彼女はワシユテナウ郡検事のエリ・サビットに敗れた。

***民主党大会**：党大会では、AIPACの支援を受けているミシガン州民主党上院議員候補のヘイリー・ステューブンス下院議員が演説台に上がった時、ブーイングを浴びた。4月にドロップ・サイトとゼテオが行った世論調査では、ステューブンスと対立候補のマロリー・マクマロー、アブドゥル・エル・サイードの支持率は拮抗していた。

***ルイジアナ州で銃乱射事件、子ども8人を殺害**：ルイジアナ州シュリーブポートで19日朝、父親が家庭内トラブルで子ども8人を射殺し、7人の子どもの母親を含む女性2人に重傷を負わせ、後に警官に射殺された。AP通信はこれを米国で2年ぶりの最悪の銃乱射事件と報じた。

***ゾーラン・マムダニ市長、オバマ元大統領と初対面**：ポリティコの報道によれば、ニューヨーク市長マムダニがニューヨークでオバマ元大統領と会談した。会談のとき、2人は託児所で子どもたちに絵本を読み聞かせた。この会談は、オバマが以前に、マムダニ市長の「相談相手」になると申し出たことから実現した。

***ベン・ローズ、バイデン政権時代のキューバ政策を語る**：オバマ政権で国家安全保障担当副補佐官を務めたベン・ローズはポッドキャスト番組に出演し、バイデン大統領のキューバ政策について、トランプ大統領の政策とほぼ同じだったと言った。彼は「バイデンは臆病だった」と述べ、バイデンは米国史上6番目のラティーノ上院議員の「ボブ・メネンデスを恐れて、オバマ政権時代の政策に戻ることを躊躇した」と付言した。

その他の国際ニュース

***スペインの首相、EUにイスラエルとの連合協定破棄を要請**：スペインのペドロ・サンチェス首相は19日、アンダルシア州の集会で、国際法と欧州の価値観に反する政府は「我々のパートナーになり得ない」と言って、EUに対しイスラエルとの連合協定を破棄することを求めた。ポリティコによると、22日に開催されるEU外相会議でスペインは協定破棄を正式に提案する予定である。

***米国、スーダンの即応支援部隊 (RSF)に戦闘員を供給していたコロンビアの傭兵リクルート業者を制裁**：米国財務省は17日、スーダンの準軍事組織RSFに数百人の元コロンビア兵をリクルートして派遣していたとして、3人の人物とボゴタに拠点を置く2社に制裁を課すと発表した。対象となった2社は、以前制裁対象であったA4SIの後継企業として昨年設立された人材紹介会社フェニックス社と、もう一つの人材紹介会社GQABである。両社は、昨年12月に制裁対象となったコロンビア軍退役将校アルバロ・アンドレス・キハノ・ベセラとその妻と関係がある。

***ブラジル、スペイン、メキシコは、キューバへの軍事介入に反対する共同声明発表：**ブラジル、スペイン、メキシコ各政府は18日、キューバの人道危機への懸念を表明し、国際法、領土保全、国連憲章に基づいて紛争を平和的に解決する道を尊重せよと求める共同声明を出した。これは、米国がキューバへの軍事行動を示唆していることを踏まえて、軍事介入に対する警告と見られる。メキシコのクラウディア・シェインバウム大統領は、17日にバルセロナで行った演説で、キューバへの軍事介入に反対する正式な宣言をしようと提案した。また、シェインバウム大統領は世界の軍事費の10%を国連主導の森林再生プログラムの充ててることを提案した。

***コンゴ民主共和国とM23反政府勢力、捕虜釈放と支援物資搬入で合意：**コンゴ民主共和国とM23反政府勢力はスイスで5日間協議し、18日に、円滑な人道支援物資の搬入、民間人保護、10日以内に捕虜を釈放することで合意した。両者はまた、恒久的停戦を監視・検証する停戦監視メカニズム設定に関する覚書に署名した。昨年12月に和平合意したにもかかわらず、東部では戦闘が続いている。

***トリニダード・トバゴの墓地で56体の遺体（ほとんどが乳幼児）が発見された：**トリニダード・トバゴ警察は18日、首都ポート・オブ・スペインから約40キロの地点にある町クムトの墓地で、乳幼児50体と成人6体の遺体が遺棄されているのが発見されたことを受け、法医学捜査を始めた。警察は予備調査の結果、身元不明遺体の不法投棄である可能性が高いと言った。成人遺体には死体安置所で使われる身元確認タグが付けられており、少なくとも成人男性遺体1体と成人女性遺体1体には検死を受けた痕跡があった。

***リビア沿岸で、移民の遺体少なくとも17体が発見される：**リビアの救急医療支援センターは18日、最近トリポリから西へ約117キロ離れたズワラ近郊の海岸で、船が転覆して死亡した移民の死体が少なくとも17体が漂着したと発表した。遺体のほとんどは埋葬されたが、一体はバングラデシュ国籍と判明し、トリポリで家族に引き渡された。

***キエフの街頭で銃撃犯が6人殺害：**当局によると、18日、キエフのホロシイフスキー地区で銃撃犯が6人を射殺し、子ども1人を含む10人に負傷を負わせた後、人質を取ってスーパーマーケットに立て籠もった。40分間交渉が続いたが、結局特殊部隊に射殺された。当局は、犯人はモスクワ生まれの58歳の男で、合法的に登録された銃を持っていて、2025年12月に武器所持許可を更新していた。

***ロシアもウクライナもエネルギーインフラの攻撃の応酬：**ロイター通信によると、ロシア軍は17日夜、長距離ドローン219機を発射、ウクライナ南部オデッサ州の港湾インフラ、農業倉庫、貯蔵庫、行政庁舎に損傷を与え、北部では38万世帯が停電した。同じ日の夜、ウクライナのドローンがロシアのサマラ州にある石油精製所2か所、クリミア半島の石油貯蔵施設、バルト海沿岸のヴィソツク港にあるルクオイル石油会社が運営するターミナルを攻撃した。また、ウクライナ保安庁は、同じとき、クリミア半島に駐留するロシア軍の揚陸艦2隻と軍艦1隻を攻撃したと発表した。

***マレーシアで1000戸以上の家屋が焼失：**マレーシア当局の発表によれば、ボルネオ島沿岸の村、カンボン・バハギアで19日早朝、約1200軒の家屋のうち1000軒以上が焼失し、9000人以上が避難民となった。水上に建てられた木造家屋で多くの先住民や正式書類を持たない滞在者が暮らすこの村は、災害地域と宣言された。死者は報告されていないが、負傷者は数人いる。火災の原因は目下調査中。

***コロンビアのペトロ大統領、エクアドルのノボア大統領を提訴：**エクアドルのノボア大統領がコロンビアのペトロ大統領を犯罪組織と繋がりがあると中傷したことを受け、ペトロ大統領はノボア大統領を提訴すると発表した、彼はノボアの中傷を否定し、それを5月末に大統領選挙を控えたコロンビアの政治への干渉だと言った。エクアドルは最近、地域最大の貿易相手国であるコロンビアに100%の関税を課すと宣言した。

***コロンビアの選挙における違法な影響工作が、リークで露呈した：**調査報道番組『セニャル・インベスティガティーバ』と『レビスタ・ラヤ』の調査で、「プラン・ジュピター」の詳細が明らかになった。これは、右派のアルバロ・ウリベ元大統領と深い関係の、長年の広報戦略家のハイメ・ベルムデスが主導する汚い違法な選挙工作である。リークした文書と音声によると、退任するペトロ大統領の「歴史的協定」で彼を後継する左派候補のイバン・セペダ・カストロを当選させないように仕組んだ悪質な工作である。

***キューバ政府、米国の脅威に対する自衛権を強調：**キューバのミゲル・ディアス・カネル大統領は、米国の軍事侵略脅威の再燃に対し、キューバは戦争を望んでいないが、自衛する権利を行使すると強調した。キューバ指導者は『テレスール』の取材に対し、キューバ政府は自国を守る「責任がある」と述べたが、米政府との対話には前向きであると言った。

ドロップ・サイトのその他の情報

*ラシダ・トレイブ下院議員（ミシガン州民主党）は、クリス・マーフィー上院議員（コネチカット州民主党）とクリス・ヴァン・ホーレン上院議員（メリーランド州民主党）とともに、3月3日にクウェートで逮捕され、現在特別法廷に起訴されているアハメド・シハブ・エルディン記者の事件に注目している。トレイブ議員は「クウェート政府は恥を知るべきだ」と言った。ジャーナリスト保護委員会は釈放を求める嘆願書を提出している。シハブ・エルディンの逮捕に関しては、Sharif Abdel Kouddous, [“Prominent Journalist Ahmed Shihab-Eldin Has Been in Jail for Six Weeks in Kuwait, Faces Trial in Special Tribunal”](#), Drop Site News, April 14, 2026 を読みたい。